

金閣寺 ルートマップ

歩いて
まわってみよう!

金閣寺の周辺は
見どころがいっぱいだわ!

凡例 徒歩 ----- 電車



正式名称は鹿苑寺。もともと貴族の山荘だったところを室町時代に足利義満が譲り受けて北山殿を造営し、義満死後に臨濟宗寺院となりました。その象徴ともいえる金閣(舎利殿)は、寝殿造と武家造、禅宗仏殿造という3つの様式がみごとに調和し、黄金の輝きを放っています。

左大文字が
真正面に見えます



コラム1 お地藏さんの祠

京都市内中心部のいたるところにある前には、町内ごとにまつられているお地藏さんがいます。祠の形もさまざまです。子どもの守り神なので、見つけたらお参りすればいいことがあるかも。

今宮神社の「目が出るだるま守り」

一見普通のだるまさんのお守りが、実は変わり種。目が飛び出るようになって、「目が出るだるま守り」と呼ばれ、開運や出世の御利益があるお守りとして人気です。勉強アンプもこればかり。

今宮神社のあぶり餅

今宮神社の参道を挟んで向かい合った軒のお店では、それぞれ名物のあぶり餅が売られています。小さく切った餅を竹串に刺し、炭火であぶったものに白味噌だれをつけたもので、各店従来の味を楽しめます。

平安京造都の際、四神相応の玄武に位置すると。枕草子にも登場する古来からの景勝地で、現在は史跡公園。

市内を一望できます



コラム2 鐘遣さん

江戸時代後期から、厄除けのために家の入口付近の屋根に置かれるようになった「鐘遣さん」が、京都の町あちこちで見られます。夜や曇りが少しずつ買えるので、見て歩くのも楽しいですよ。

明治天皇の命により、織田信長を称えるために建立した神社。木造の大鳥居(高さ7.2m)は、国の登録有形文化財。

船岡温泉

大正時代創業の料理旅館の附属浴場が、後にお風呂呂屋さんとなりました。内装には、明治～大正期の西洋建築によく見られるマジリカクティイ、手の込んだ欄間など豪華な装飾が施され、国の文化財にも指定されています。

百人一首の歌人としても知られる小野篁ゆかりのお寺で、本堂には高さ2.4mの關原大主座像を安置。

上七軒

室町時代に七軒の茶店を建てて北野天満宮の参詣者の休憩所としたのが名前の由来。京都で最も古い花街(芸妓・舞妓が出入りするお茶屋が集まる地域)といわれ、一帯は景観整備地区に指定されています。

苦しみを抜き取ってくれるお地蔵様をまつことから、「善抜地蔵」と呼ばれるように。

千本釈迦堂(大報恩寺)

1227年に建立された当時のままの姿を留める本堂は、京都市内最古級の木造建築物で国宝。快慶や定慶などが彫った仏像を随所に見学できます。

応仁の乱で西軍の大将となった山名宗全の邸宅跡。西軍の本陣だったこの地域が、のちに「西陣」と称されるようになりました。

京都市内の銘酒調査による出土品を収蔵・展示する施設。

龍安寺

池を中心とした回遊式庭園と方丈庭園を有する禅寺。とくに後者は枯山水の名庭として知られ、国内外を問わず人々を魅了しています。

足利尊氏が創建した寺院で、歴代の足利将軍の墓と像があります。

北野天満宮

学問の神様 菅原道真公をまつる全国天満宮総本社。入試合格・学業成就・厄除祈願などの信仰が厚く、天神信仰発祥の地として崇められています。社殿は国宝に指定され、境内には約1500本の梅が植わる京都屈指の梅苑を有しています。また境内各所には神代とされる半の像が多数奉納されています。

御土居

天下統一を果たした豊臣秀吉が、京都の都市改修の一環として設けた土塁。当初は全長22.5kmありましたが、江戸時代以降の都市開発で、現在は市内数カ所に一部が残っているのみで10箇所が史跡に指定されています。

平野神社

平安遷都の際に創建された格式ある名社で、櫻の名所。

北野天満宮

千本釈迦堂(大報恩寺)

町家も活用した郵便局です

今出川 智慧光院

富田屋

呉服問屋の大名として明治18年に建てられた町家の姿をそのままに伝えており、国の登録有形文化財にも指定されています。町家見学とあわせて京都のしきたりや学ぶ体験や、書物の書付けやお茶屋の体験もできます。

清明神社

安倍清明をまつる神社で、平安時代に陰陽師として活躍した清明に陰陽師だったところに社殿が建てられています。鳥居の彫りや境内のしるさくで見られる「清明桜」(五芒星とも呼ばれる)は、陰陽師の信仰の現存とも知られます。

蹴鞠の守護神をまつことから、サッカーや各種スポーツの御利益を求めて多くの参詣者が集ります。日本代表選手から奉納された公式球など、さまざまな競技のボールがお堂に並んでいます。

製作体験もできる西陣織の総合ミュージアム。

